

令和5年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。
 * 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和5年度 項目	R5前期 肯定率	R5後期 肯定率	比較	R5	R5	R5	R5前期 平均	R5後期 平均	比較	R5	R5	R5	分析		
						後期 1年	後期 2年	後期 3年				後期 1年	後期 2年	後期 3年			
【教育目標】	1 教師	本校の教育目標である『共に「学び 思いやり 鍛え」輝く』の実践に努めている。	100%	95%					3.0	3.2							
	2 教師	学校で生徒のよさや可能性が発揮され、一人一人が輝く場面をつくっている。	100%	95%					3.0	3.0					○運動会や文化祭等の行事を通して、生徒一人一人が前向きに活動し、個性を発揮する場面が多く見られた。		
	2 生徒	自分のよさや可能性が発揮でき、諸活動に前向きに取り組んでいる。	90%	93%		94%	90%	95%	3.2	3.4		3.4	3.3	3.5			
	2 保護者	学校ではお子さんのよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	89%	87%		83%	88%	90%	3.1	3.2		3.1	3.2	3.3			
	2 地域	生徒のよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	100%	100%					3.5	3.5							
3 教師	いじめ問題に対応し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%					3.2	3.2								
【家庭・地域との連携・協働】	3 生徒	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	91%	97%		98%	98%	93%	3.4	3.6		3.7	3.6	3.6	○定期的にアンケートや教育相談を実施し、生徒理解や保護者との連携に努めている。 ○「差別をなくする強調月間」として、11月に重点的に人権・同和問題学習に取り組む、人権意識の向上に努めた。		
	3 保護者	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	88%	93%		94%	93%	92%	3.1	3.2		3.2	3.2	3.1			
	3 地域	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	88%	100%	↑				3.4	3.3							
	4 教師	保護者や地域の方が、行事やその他の教育活動に参加しやすい工夫に努めている。	100%	95%					3.2	3.1							
【学年・学級活動】	4 保護者	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	89%	88%		91%	88%	86%	3.1	3.2		3.2	3.2	3.2	○引き続き、授業公開やHP、八中だよりや校長通信・生徒指導通信等を活用して学校の様子を発信していきたい。 ○今後も教育活動に関する情報をHPや連絡メール、通信を通して、教育活動への支援と理解をいただけるような発信を心掛けたい。 ○コロナ等の感染症の影響で、地域に出かけたり、地域の方を招いたりしての活動が少なくなっていたが、従来の活動が工夫しながら戻ってきている。		
	4 地域	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	86%	89%					3.3	3.2							
	5 教師	教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるように努めている。	91%	89%					3.1	3.0							
	5 保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	90%	96%	↑	94%	98%	95%	3.3	3.3		3.3	3.4	3.3			
	5 地域	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	100%	91%					3.4	3.5							
	6 教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	73%	84%	↑				2.9	2.9							
【学年・学級活動】	6 保護者	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	92%	91%		89%	90%	93%	3.2	3.2		3.2	3.3	3.1			
	6 地域	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	75%	91%	↑				3.0	3.3							
	7 生徒	学校生活が楽しい。	91%	93%		87%	94%	95%	3.4	3.5		3.4	3.5	3.6	○運動会、文化祭など、生徒が生き生きと活動する姿が見られた。今後も生徒の主体性を重視した教育活動の推進を心掛けたい。		
	7 保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	91%	88%		91%	80%	91%	3.4	3.3		3.3	3.2	3.5			
	7 地域	八代中の生徒は、元気に楽しそうに学校へ通っている。	100%	88%	↓				3.3	3.1							
	【学年・学級活動】	8 教師	様々な活動で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合う生徒の育成に努めている。	82%	95%	↑				2.8	3.2	↑				○昨年度後半より始めた「問答ゲーム」が定着し、議論し合う楽しさを実感できているようである。	
		8 生徒	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	87%	93%		91%	92%	94%	3.3	3.5		3.4	3.2	3.7		
		8 保護者	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	88%	88%		92%	88%	86%	3.1	3.1		3.1	3.1	3.1		
		【学年・学級活動】	9 教師	生徒は時と場に応じたさわやかな挨拶をしている。	73%	72%					2.8	2.8					○地域の評価が低下している。 ○生徒会役員を中心に、毎朝の挨拶活動やあいさつこだま運動を行っている。寒い中でも気持ちの良い挨拶ができるよう今後も継続していきたい。
			9 生徒	学校や地域で、時と場に応じてさわやかなあいさつをしている。	92%	95%		95%	94%	94%	3.4	3.4		3.4	3.3	3.6	
9 保護者			八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	72%	71%		65%	79%	70%	2.8	2.8		2.7	2.9	2.8		
9 地域			八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	100%	63%	↓				3.1	2.6	↓					
【学年・学級活動】		10 教師	自発的・自治的な学級活動や生徒会活動を推進している。	91%	100%	↑				3.0	3.3	↑				○3年生を中心とした旧生徒会本部役員の実績が結果だと考える。 ○各委員会活動を中心に、学級内における取り組みの成果を上げていきたい。	
		10 生徒	学級活動や生徒会活動に自主的、積極的に取り組んでいる。	84%	86%		87%	81%	86%	3.2	3.3		3.4	3.2	3.4		

令和5年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。
 * 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和5年度 項目	R5前期 肯定率	R5後期 肯定率	比較	R5	R5	R5	R5前期 平均	R5後期 平均	比較	R5	R5	R5	分析
						後期 1年	後期 2年	後期 3年				後期 1年	後期 2年	後期 3年	
【教育活動】	11 教師	ふるさと教育やキャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	100%	89%	↓				3.1	2.9					○キャリア教育の推進は当然必要であるが、働き方改革を進め、業務改善を図りつつ、私たち大人が子どもたちのロールモデルとなることが大切であると考えている。
	11 生徒	将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	83%	90%		85%	86%	92%	3.3	3.5		3.5	3.4	3.6	
	11 保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	66%	68%		60%	69%	73%	2.8	2.8		2.7	2.9	2.9	
	12 教師	思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	91%	95%					3.0	3.0					道徳科の授業では、ローテーション道徳を実践した。引き続き、全教育活動を通して、心を育む教育を推進していく。
	13 教師	特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	82%	72%	↓				2.9	2.8					○学校行事や授業を通して、特別支援学級の生徒理解が深められるよう意識して生徒と関わっていく。
	14 教師	人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	100%	100%					3.1	3.1					
【学力向上】	15 教師	基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	100%	94%					3.2	3.2					○授業内容が徐々に難しくなってきたり、理解度がやや下降していると考えられる。引き続き分かりやすい授業の実践に努めていきたい。
	15 生徒	授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。	87%	82%		82%	73%	88%	3.2	3.2		3.2	3.0	3.3	
	15 保護者	お子さんは、授業を通して、基礎的・基本的な内容が身に付いている。	68%	63%		49%	63%	74%	2.8	2.8		2.6	2.8	2.9	
	16 教師	生徒は自主学習に励んでいる。	80%	83%					2.8	2.9					○自主学習ノートの在り方を見直し、強制的な学習から、自ら進んで行う学習への転換を図っている。
	16 生徒	自主学習に励んでいる	80%	82%		76%	77%	88%	3.2	3.2		3.2	3.0	3.4	
	16 保護者	お子さんは、自主学習に励んでいる	59%	63%		67%	52%	67%	2.7	2.7		2.7	2.6	2.8	
	17 教師	生徒は粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	80%	88%					2.8	2.9					○自分の課題に応じた問題集を解いたり、タブレット端末を活用したりして、工夫して自主学習を行うことで、確かな学力を身に付けさせていきたい。
	17 生徒	粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	76%	84%		82%	77%	89%	3.1	3.2		3.2	3.0	3.4	
	17 保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	50%	56%		56%	53%	57%	2.6	2.6		2.6	2.6	2.7	
	18 教師	豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。	100%	84%	↓				3.1	3.1					○行事の多い2学期は校外の研修に自主的に参加する機会はとりにくかったが、グループごとの研究授業を充実させた。
【生徒指導】	19 教師	生徒の安全対策に努めている。	100%	100%					3.4	3.5					○朝や放課後の登下校指導や長期休業中の校区巡視を行い、気になる生徒には声掛けや指導を行っている。 ○気になる事例については、生徒指導通信等で注意を呼び掛けた。
	19 生徒	登下校や自転車に乗るとき、事故がないよう、安全に気を付けている。	96%	98%		80%	96%	97%	3.7	3.8		3.8	3.7	3.8	
	19 保護者	学校は、生徒の安全確保に努めている。	95%	94%		92%	95%	95%	3.2	3.3		3.2	3.3	3.3	
	19 地域	学校は、生徒の安全確保に努めている。	100%	100%					3.4	3.6					
	20 教師	部活動の重要性を認識し、たくましい心身の育成に努めている。	100%	94%					3.4	3.4					○今後も目標を持って部活動に取り組める生徒を育成したい。
	20 生徒	部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	93%	94%		96%	89%	95%	3.7	3.7		3.8	3.6	3.8	
	20 保護者	お子さんは、部活動に意欲的に参加している。(していた。)	94%	92%		94%	84%	95%	3.6	3.5		3.6	3.4	3.6	
	21 教師	家庭・地域・諸機関との連携を深め、積極的な生徒指導に努めている。	100%	100%					3.2	3.2					○引き続き、生徒指導通信を発行し、学校の課題と指導の方向性を保護者や地域に発信することができた。
	21 保護者	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	83%	86%		88%	88%	82%	3.1	3.1		3.1	3.1	3.0	
	21 地域	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	88%	100%	↑				3.3	3.6	↑				
【総務】	22 教師	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃を推進している。	64%	83%	↑				2.7	3.0	↑				○委員会の活動として、清掃の様子を放送で紹介したり、呼びかけたりすることで主体的な行動につながったと思われる。 ○清掃の方法を明確にすることで、時間いっぱい取り組める生徒が増えたと思われる。
	22 生徒	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃に取り組んでいる。	92%	95%		93%	90%	98%	3.5	3.6		3.6	3.4	3.8	
	23 教師	I C Tを授業で積極的に活用し、協働的・探究的な学びを目指している。	90%	83%					3.2	3.1					○出席簿や健康観察での活用は行ったが、授業についても効果的な活用方法を考えていきたい。
	24 教師	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないよう意識改革に努めている。	73%	75%					2.8	2.9					働きかいを大切にしつつ、働き方改革を引き続き進めていきたい。